

## 次世代液状化検体細胞診システム Cellprep シリーズのご紹介

○武田 陽平 (ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社)

### 【はじめに】

細胞診の標本作製方法は、簡便且つコストがかからない直接塗抹法が長い間一般的でしたが、近年欧米諸国では、従来法の課題である検出感度の問題や検体不適性が改善された第一世代といえる様々な液状化検体細胞診(LBC)システムが発売され、広く普及されています。現在、LBC システムは従来の課題であった、結果の確かさや応用性、標本のクオリティ、簡便さ、作業効率性、省スペース性、安全性、信頼性などを、高いレベルで解決する次世代のものが求められています。そこで今回、弊社が発売開始したCellprep(セルプレップ)シリーズについてご紹介致します。

### 【機器の特徴】

#### 細胞像

LBC 特有の特徴として、塗抹に先立って固定を行うことによる細胞の収縮が挙げられてきました。Cellprep では専用固定液の濃度調整により細胞収縮を最小限に抑え、従来法に近い細胞像が得られるよう開発致しました。

#### 対応検体種

Cellprep 専用の固定液入りバイアルは「婦人科・口腔用」、「呼吸器用」、「穿刺吸引・体腔液用」、「尿・髄液用」の4種のラインナップ。それぞれ検体種別に合わせた前処理剤をあらかじめ含んでいることで煩雑な前処理を極力減らす設計です。

#### 処理能力

1 検体 30 秒(Cellprep PLUS)の処理速度を実現しました。装置は以下2機種をラインナップ。塗抹原理として風圧を用いた「Cellprep 法」を用いています。

### Cellprep PLUS

セミオートタイプの細胞塗抹装置。  
ロードされたメンブレンフィルターを自動で装填し、1 標本を 30 秒で作製する。検体量によって細胞の塗抹量を選択することができる。



Cellprep PLUS

### Cellprep AUTO

フルオートタイプの細胞塗抹装置。  
QR コードに対応したバイアル&スライドマッチング機能により、40 検体までの同時処理が可能。  
検体の濁度から塗抹量の自動調整を行い、40 検体を 40 分で処理する。



Cellprep AUTO

資料請求先：048(610)4000